



仙波敏郎さんの 話を聞く会

平和に生きる権利を使うために

日時: 7月28日(土) 13:30~16:30

場所: コムズ 視聴覚室 A

松山市三番町 6 丁目 4-20 ☎089-943-5776

参加費: 無料

「原発があつては、安心して暮らすことができない!」という思いで、市民が行なった伊方現地行動に対し、愛媛県警は『警備』という名の弾圧を行いました。「それを許してはいけない!」という思いで、原発さよなら四国ネットワークは県警に対し、異常警備の決定過程と費用などの、情報公開請求をしました。

しかし県警が出してきた通知書は、ほとんど真っ黒黒の”のり弁”だったため、私たちは不服審査請求を行いました。それに対し県警は「黒塗りは適法、正当な処分である。」という弁明書を出してきました。

これから私たちは、「黒塗りにして情報を隠すことこそが違法であり、開示する必要がある。」という反論書を書き、処分庁(公安委員会)に提出し、口頭意見陳述に臨みます。それに向け、気合と知恵を注入するために、仙波敏郎さんのお話を聴く学習会を開きます。

放射能におびえることなく平和に生きる権利を、私たち市民自身が、私たち自身のものとして行動するために、ぜひ一緒に学びましょう。

仙波敏郎さんプロフィール (ウィキペディアより)

1949年生。松山出身。日本の警察ジャーナリスト、内部告発者。愛媛県警察の元巡査部長。鹿児島県阿久根市の元副市長。「警察見張番・愛媛」代表。

2005年、現職警察官として初めて警察の裏金問題を実名で内部告発し、左遷され鉄道警察隊勤務。配置転換を不服として、県を相手取り国家賠償請求訴訟。県側上告断念により勝訴確定。2009年 42年間勤めた愛媛県警を定年退職。



主催: 原発さよなら四国ネットワーク 問い合わせ先: 089-962-7432 (土居)